

2016年度宮城厚生協会新入職員辞令交付式

88名のフレッシュな仲間とともに



2016年度 辞令交付式

厚生協会だより

2016年5月21日
第 337 号

発行
公益財団法人
宮城厚生協会

〒985-0835
宮城県多賀城市下馬
二丁目13番7号
TEL 022-361-1113
FAX 022-361-1124
発行人：横山 公樹

4月1日(金)、坂総合ク
リニック1号館8階会議室に
おいて「2016年度宮城厚
生協会新入職員辞令交付式」
が執り行われました。今年度
は88名のフレッシュな仲間を
迎えました。今田隆一理事長
と新入職員代表の島由衣医師
のあいさつをご紹介します。

■ 理事長あいさつ

(公財) 宮城厚生協会理事長
今田 隆一

新社会人としてのスタート
を切ったみなさん、改めてお
めでとございます。また今
日の佳き日を迎えられた皆さ
んのご両親やご家族、ご親戚
の方々のお慶びはいかばかり
でしょうか。理事長の私もと
てもうれしく思います。

さて、みなさんはこの機会
に初めて社会に出られた方が
ほとんどだと思います。社会と

いうのは自分だけで成り立っ
ていないのはもちろんです。
いろいろな人がいて、いろい
ろの組織があつてその中でど
う生きるのか、どう頑張るの
かが問われる場です。本日から
みなさんは公益財団法人宮
城厚生協会という組織に入ら
れた。新人の「組織人」とい
うことになります。

組織を上手でイメージ、 個々人の役割・チーム ワーク大切

私は組織のことを考えると
きにわかりやすく「上肢」を
イメージします。「上肢」と
いうのは肩から先、手までを
言います。肩は方向付けをし
ます。まるで組織の幹部の役
割のようです。肩は体の中で
もっとも動かす範囲(「可動
域」といいます)の広い関節
で、肩関節を中心に半球状の
範囲を動かすことができます。

組織の幹部はその組織の
方向付けを行ないます。ひじ
は中間管理職です。「力(ご)
」という言葉がある通り、上肢
の中でもっともパワフルな
関節です。しかし可動域は曲
げる・伸ばす他、右左に捻じ

るといふ比較的単純な範囲で
す。

肝心なのは手です。手を構
成している骨(手根骨、中手
骨、指骨)、それについてい
る筋群、関節の一つ一つは小
さく、弱く、可動域も限られ
ているのですが、全てが揃つ
て、統一された動きを作る瞬
間から体の中で最も微細な細
かい動作・運動が可能となり
ます。まるでチームワークに
支えられた現場のようです。
ここでは何一つ、欠けてもこ
うした動きに支障が出ます。
みなさんは明日から手を構成
する要素のひとつとして現場
に入るようになります。

上肢の3つの構成要素であ
る肩・ひじ・手を情報でつな
ぐ役割が神経です。また人・
物・金の補給路が血管系の役
割です。血管系はそのほか、
組織の温度管理もしていま
す。

組織を上手でイメージする
とき、個々人の役割発揮を前
提にしたチームワークの大切
さを理解できると思います。
そうです。一人として役割の
ない職員はいません。



祝辞を述べる今田理事長

4つの期待すること

さて皆さんに期待することろをささげに申し上げましよう。

一つ目は「仲間を大切に」ということです。人生は山あり、谷もあります。そのとき本心に頼りになるのは「仲間」です。本日、同期入職という縁をもらった仲間を大切にしてください。

二つ目は「日々の努力を積み重ねる」ことの大切さを心

してほしいということですが、日々の努力は決してみなさんを裏切らないでしょう。

三つ目は「好奇心」です。なにことにも好奇心をもってチャレンジしてください。

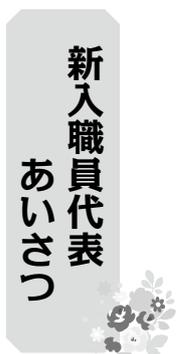
四つ目は「生活者の視点」です。これはとくに専門職の方々に心してほしいことです。ときには視点を変えてみてください。

宮城厚生協会の成長の鍵は皆さんに

世の中は高度高齢社会とあって、認知症はじめ障害老人だらけといった間違っただイメージにとらわれていません。私も高齢者の入り口に立つてはいますが、自立した生活をこれから送っていきたくと考えています。しかし、未来を描く責任と権利はみなさんのような若い人たちに

あるのは間違いがありません。

私たち宮城厚生協会も組織としての曲がり角にきている、と指摘する声もあります。これからの宮城厚生協会の成長の鍵は皆さんにあります。先輩たちとともに頑張ってください。ことへの期待をこめてあいさつとします。



初心を忘れず、患者様と向き合えるよう、精一杯努力します

医師 島 由衣

本日は、私たちのためにこ



あいさつする島由衣医師

のような式を開催していただき、誠にありがとうございます。新入職員を代表いたしまして心よりお礼を申し上げます。

先ほど、理事長の今田先生より、期待と励ましのお言葉をいただきました。大変、身の引き締まる思いです。

私が生まれ育った町では、病院や医師の数が不足しており、家族が急病の時も診察を受けるまでに何時間もかかってしまう状況が当たり前になっていました。

幼い頃から漠然と抱いていた医師という職業へのあこがれが、こういった経験から一人でも多くの人に安心して日々を過ごせるように、地域に貢献したいという目標へと変わっていったのだと思います。

東日本大震災から5年が経ち、各地で復興が進む今、私たちの世代が地域を支えていくのだという思いが一層強くなりました。

私たちは、病や痛みを抱えた人々の力になるべく、今日こうして医療者としてのスタートラインに立つことができ

ました。各々が初心を忘れずに、他者への感謝と思いやり、そして、正確な知識と技術を合わせ持つ医療者になることをここに誓います。

一日も早く一人前の医療者として、患者様に向き合うことができるよう、精一杯努力していく所存です。

ご迷惑をおかけする事もあられるかと思いますが、ご指導ご鞭撻下さいますよう、お願い申し上げます。

以上、簡単ではございますが、新入職員を代表しての感謝と決意の言葉とさせていただきます。



宮城厚生協会

全職責者会議 開催



副専務理事 平賀 秀法

「宮城厚生協会全職責者会議」が2016年4月2日にTKPガーデンシティ仙台(仙台アエル)を会場に101名が出席し開催されました。



今田理事長があいさつ

◆テーマは二つ

一つ目は、2015年度経営到達と2016年度予算・経営課題

法人予算計画と4病院の予算計画について報告を受け、グループで主要課題の抽出と自らが取り組む課題を明確にしました。討議メモからは、課題を明確に示している事業所は職責者集団としても共通認識となっている一方、方向性を示し切れていない事業所は、職責者自身も定まっていない状況が読み取れます。事業所が抱えている課題と職責者意識の特徴が表れています。討議で出された意見は事業所ごとにまとめられ、2016年度予算達成に向け議論を深めることとなります。

二つ目のテーマは、新人事賃金制度

この制度改定は2014年 期第13回理事会(2015年6月)で決定を受け、新人事賃金制度プロジェクトを中心に検討を進めています。今回の提案は、昨年10月に開催された全職責者会議の討議やプロジェクトに寄せられた意見を踏まえ制度設計した

ものです。改定コンセプトは二つです。一つ目は、今後の経営環境の悪化の下で、従来型の経営では立ち行かなくなり、収益と人件費のバランスを早急に改善することが求められること。

二つ目は、賃金改定原資は限られているが、医師、看護師及び若い世代の賃金引き上げと、職員のモチベーションアップをいかに図れるかを主に検討を行い提案することです。

活発な討議で意見交換

討議では、「職種や年齢ごとにそれぞれの立場から意見がでるのは避けられないが、組織内の高齢化に対する何らかの人員費対策は必要ではないか」「50歳から頭打ちになることや60歳からの短時間勤務による減収は生活に大きく影響する」など多様な意見が出されています。年齢構成が高まっている現状への対応の必要性と賃金が下がる層を作らないことを両立させる難し



各テーブルで活発に議論



さを示しています。また、リーダー手当では、「若手の励みになる」「評価制度との関連で基準化が求められる」。人事評価制度、職責者任期制度と登用制度では、「合理的で綿密な制度設計が必要」との意見が出されています。これらの討議を受け、今後の進め方について引き続き理事会で議論していくこととなります。

熊本支援報告

息の長い支援を 意識して

阿南 陽二

(全日本民医連副会長・坂総合病院副院長)

4月19日(火)から23日(土)まで現地に入って災害対策本部に加わり、全国からの支援者をサポートしコーディネートする目的で立ち上げたMMA T (Minren Medical Assistant Team)として、当院の郷古医師、奈良民医連土庫病院の下林医師とともに活動を行いました。

現地熊本の状況

現地熊本民医連の災害対策本部は、県庁近くにあるくわみず病院(一般と地域包括100床)内に置かれましたが、事業所の規模などを考慮して、全日本民医連の対策本部は、博多からJRで南に約1時間の大牟田市にある福岡民医連の米の山病院に設置されました。全国からの支援者は、大牟田に前泊して翌朝バスで熊本に向かいますが、渋



阿南医師(右から2番目)、郷古医師(左から2番目)

滞のため2〜3時間かかりました。

熊本市内には、民医連の事業所では他に、精神科の菊陽病院があります。どちらの病院も建物被害は少なく、ほぼ通常通り診療を再開していますが、職員の2〜3割が避難所や車中泊を余儀なくされている、かなり疲弊しているとのことでした。

全国からの支援者は、両病院の診療支援とともに、地域

にも入りました。熊本市の東側に隣接する益城町(ましきまち)は、地震による死者数が最も多く、住宅の約半数が全半壊した地域です。古い建物の1階部分が押しつぶされた光景が広がる町並みは、直下型の阪神淡路大震災に似ていました。

公式の避難所には、行政や各団体からのサポートが入っていました。しかし自宅で片付けをしている方々に声をかけていると、「狭心症の薬がなくなった」、「フェンタニル

パッチ(癌の疼痛緩和薬)を



切らしてしまった」といった相談がもちかけられる状況があります。サポートから取り残された、自宅などでの避難者も相当数いるのではないかと危惧されました。余震が多いこともあり、あちらこちらの駐車場で、車の中で寝泊りする人が多いのも特徴的で、肺塞栓予防のチラスを配って歩きました。

南阿蘇村は、益城町からさらに東側、外輪山の内側で東西に広がる地域です。北西に位置する立野(たての)では、土砂崩れで阿蘇大橋が流され、東海大学のアパート崩落とともに、大きな被害が発



生しました。熊本との主要交通路が寸断され、陸の孤島になりかけています。

民医連も 医療支援に当たる

各医療チームが支援していますが、役場の保健師以外に対応可能なスタッフがおらず、南阿蘇に居住するくわみず病院の医師がコーディネーター役を担っています。日赤や国境なき医師団とともに、民医連も医療支援に当たることになりました。

MMA Tは、全日本および熊本民医連の対策本部の組織だてなどに関して援助を行い

ました。対策本部のなど活動をサポートするために、全国から事務幹部の派遣が要請され、宮城からもいち早く応えています。偶然出席した熊本民医連理事会で、今回の被災対策のなかで、東日本大震災の教訓が生かされているという発言は印象的でした。

今後は、余震や降雨、交通機関やライフラインの復旧状況に左右される可能性がありますが、民医連事業所や被災者の支援は長期におよぶものとして予想されます。現地からの求めに応じた、息の長い支援を意識した準備と派遣が必要と思われれます。



坂総合病院で

「多職種参加型の症例検討会」を

初開催

クリニック診療サービス課 湯本 朋巳

深刻な事例内容

坂総合病院 社会保障委員会主催の「症例検討会」が去る3月24日に行われました。事務職を含む「多職種参加型の症例検討会」は、坂では初めての開催です。看護師、検査、放射線、SW、事務など約20名が参加しました。

発表事例は3件(相談室1、病棟2)。1件目は高齢者男性の独居、収入は年金のみ、借金は年金を担保に200万円。年金の「額面上収入」が生活保護水準を上回り「包

括支援センター」との関係も切れている状況で、いかに介護サービス、訪問診療を受けさせるようにするか？

2件目は高齢者女性で「経済的困難をかかえた家族」と同居。入院費は未納。介護保険料未払のためペナルティで3割負担のため、介護サービスの支払い能力がない。自宅で安心して暮らせるには、どうすればいいのか？

3件目は50歳代男性。震災復興事業で来県。肝疾患で入院。生活保護、家族・親族とは音信不通、「言葉の暴力」を含め頻りに問題行動をおこす患者。余命数ヶ月と言われているが、このまま入院を継続させるのか？

グループで事例討議、発表

以上について2グループに分かれて討議。

難問に対して討議する中で、珍回答に苦笑いしたり、「自己破産をするにも弁護士への依頼が必要で経費がかなりかかる」「介護保険料の未払いがあると3割負担になる」という知識を得たり、熱



グループで活発に事例討議

参加者の声

心な討議とグループ発表がありました。

参加者からは「老後破産が言われている中、今回の症例は数年後の自分のようだ!」「社会状況からして、今回のような症例は今後さらに増えるのではないか?」「参加者が少なかったが、参加者を増やして2回目の開催も検討してほしい等の感想がたされ、全体的には好評でした。社会保障委員会としても、今回のような「症例検討会」を定期的開催できるよう、活動を強化していきたいと思えます。



事例報告する 佐々木千晶さん(SW)



事例報告する10階病棟師長の 今野美枝子さん



事例報告する看護師の 坂井めぐみさん(7階病棟)



次は安土城を造るぞ！

さわやか **エッセイ**

プラモデル造りは 安らぎ時間

協会事務局経営管理担当 **松本 和弘**

最近の作品紹介

3年ほど前から、子どもの時以来のプラモデル造りを始めました。最近の作品を紹介します。

1/12のホンダモンキーとホンダゴリラ。何とも懐かしく可愛いバイクです。箱の写真を参考に丁寧に彩色しました。愛用していた友人を思い出します。

1/450の戦艦大和と武蔵。艦船ものは比較的複雑な形なので、部品の組立が楽しめます。大和と武蔵は兄弟艦なので、部品が全く同じです。彩色で区別してみました。

ところが、組立図を読み間違えて、部品を別な位置に接着してしまいました。組立図は部品のイラストが結構曖昧で、接着の方向や順番をよく考えないと組立が行き詰ります。参考書から、部品をヤスリやドリルで加工する事を知りました。船体の横に窓に見立てた穴を開けたり、煙突の上部をくり抜きました。



ホンダモンキー



ホンダゴリラ

ひとつ完成まで2～3か月

無心に部品のヤスリかけや彩色に没頭していると、時間の経つのも忘れてしまいます。ひとつ完成するまで2～3か月掛かります。1/500空母赤城、1/700戦前のドイツ戦艦ビスマルクとスケールを小さくして、より細かい作業もできるようになります。手間を掛けるほどに完成した時の喜びも大きいです。



戦艦ビスマルク

次は気分を変えて幻の名城「安土城」を

でも艦船は膨大な人命を奪った戦争の道具である事も実感します。戦艦大和も1945年4月に無謀な作戦で乗船戦闘員だけでも4000人以上が戦死しました。人気の1/700ウォーターラインシリーズは、国内4社が共同で数百種類の国内外の艦船が発売されています。横須賀を母港にしている米軍原子力航空母艦や、自衛隊のヘリ空母やイージス艦もあります。模型からアメリカ軍や増強されている自衛隊の装備の現実をリアルに実感できるかもしれません。今話題のオスプレイも揃えてあります。が、次は気分を変えて幻の名城「安土城」を再現しようと思います。



戦艦大和